

ごみ処理の有料化に関する説明会

1 日 時：令和3年7月29日(木) 午後7時～8時40分

2 場 所：袋井北コミュニティーセンター

3 出席者：69人

4 次 第

(1) あいさつ

(2) ごみ減量啓発動画の視聴

(3) ごみの有料化(案)の説明

(4) 質疑応答

Q：1世帯当たり6,240円として、市内約35,000世帯で、2億円近い収入があると考えますが、使い道は？

A：ただ単に有料化によりごみを減らすだけでなく、そこで得られた収入を使い、雑紙のリサイクル、草木や生ごみの肥料化などを行い、更なるごみの削減、温室効果ガスの削減に努めていきます。

Q：現時点で決定しているわけでないのか？地域の説明会を経て、最終的に判断していくということでしょうか？

A：最終的には、2月の市議会で議決をいただいて決定なので、現時点で決定しているわけではありません。ただし、金額の多寡は別として、有料化については、できればお願いしたいと考えます。温室効果ガス削減のための施策を、市も行わなければならないことは分かっていますが、その財源がありません。そのため、有料化で得られた収入で、行っていきたいと考えますので、そこへのご理解はお願いしたいです。

Q：得られた収入で行う施策について、もう少し具体的に説明していただきたい。

A：例えば雑紙については、自治会の協力をいただき、月2回の資源回収で、雑紙を回収する一区画を設けていただき、汚れている雑紙以外全てを、各家庭から集めたいと考えています。雑紙はトイレットペーパーに再生されますので、ゆくゆくは市内のスーパー等で販売したいと考えています。これらについては、実現に向け、市内の古紙回収業者や富士市の再生工場とも、協議を進めています。

草木については、コンテナで集め、市内の企業で堆肥化を行っていきたいと考えます。こちらについても、業者とは協議中です。

生ごみについては、家庭用生ごみ処理機、コンポストの補助に加え、大型生ごみ処理機の共同導入も考えています。生ごみ処理機には、「肥料化方式」、「乾燥方式」、「分解方式」の3タイプがあります。現在、検討させていただいているのは、「分解方式」で、最終的に処理したものを水で洗い流し、浄化槽などで処理するものです。理由は、臭いが少ないからです。こちらは、先日視察に行き、臭いの確認もしましたし、近々、試験導入を考えていますので、皆さんにも周知していきます。

Q：費用は、どのくらい掛かるのか？

A：雑紙は市内192か所の集団回収か所がありますので、そこから回収させていただくのに、1,000万円以上の費用が必要となります。草木のコンテナは、設置から処理までで約2,000万円。家庭用の生ごみ処理機の補助は、約200万円。大型生ごみ処理機は、大きさにもよりますが、200～500万円で、できれば市内14か所のコミュニティセンターに設置し、近くのお母さん方に、生ごみの処理を共同で行っていただきたいと思います。

Q：180円が780円と600円の値上げなんて、あり得ないことだ。

A：今後、正式決定する際の意見とさせていただきます。

Q：有料化の前に、減量化の検討を行ったのか？

A：皆さんからは、まだまだと言われますけど、市も今まで、広報紙やホームページ、またその他の様々方法により、啓発やPR。皆さんと一緒に、水切り大作戦などの施策を行ってきましたが、いずれもごみ減量化に大きな成果は出ませんでした。理由は、皆さんへのお願いが主で、市もあまり予算を掛けて来なかったからです。市もやらなければいけないことは分かっているけど、財政が厳しく予算がありません。今回、有料化により得られた収入で、ごみ減量化施策を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解ください。

Q：平成28年度に分別の方法を見直したことにより、ごみが増えたのではないか？それをまず戻せばどうか？それでも減らなければ、有料化にすればどうか？

A：容器包装プラスチック以外のプラスチックは、月2回の集団回収で回収し、クリーンセンターで焼却処理していました。また、容器包装プラスチックは、回収後、分別を行い、汚れていてリサイクルできないものは、こちらで焼却処理していました。「家の中でかさばる」との声を受け、皆さんの利便性を図るため、「最終的には燃やしているのだから、可燃ごみとして緑の袋に入れても良い」としたところ、「プラスチックは何でも燃やしていい」というような解釈が広がってしまいました。あわてて広報等させていただきましたけど、払拭するまでには至っていない状況です。そのため、今回も動画等で、そのような説明をさせていただいているところです。

Q：やれることからやったらどうか？

A：市も啓発等は、今までやってきました。特に、平成29年、30年には、「水切り大作戦」と銘打って、「生ごみの水分を10%減らせば、燃料の節約で1,000万円以上のごみ処理費が減るよ」ということで力を入れ、色々な総会の場やイベント会場で、啓発や水切りグッズの配布など、延べ2,000人近くにPRを行いましたけど、あまり成果が出ませんでした。今回、有料化収入で、さらにごみ減量化施策を行う考えです。

Q：雑紙の分別など進めればどうか？

A：雑紙は、古紙の駅でも回収を行っています。ただし、カーボン紙やアルミ加工された紙、圧着はがき、固いラップの芯など、リサイクルできないものがあります。今回、提案させていただいているものは、使用済みの紙おむつやティッシュなど汚れた紙以外の全ての雑紙を、なるべく自宅近くの場所で、集めさせていただくものです。できれば有料化の収入で、そういったことを行いたいと考えています。

Q：古紙の駅に雑紙を出せることを知らなかった。動画に出てきたアルミ加工された紙がリサイクルできることも知らなかった。紙の分別について、多数の人に集まってもらい

実演したり、動画も子どもから年寄りまで、分別が分かる内容にしたりしたらどうでしょうか？

A：アルミ加工された紙などは、古紙の駅では回収していません。今回、提案させていただいているのは、汚れた紙以外、全て回収でき、分別が簡単ですので、そういった方向で、分別を進めさせていただきたいと考えます。

※実演や動画については、皆さんに分別方法が分かりやすく伝えられるよう、工夫させていただきます。(当日は回答が漏れていました。すみませんでした。)

Q：古いごみ袋を使用できる猶予期間が、1年間というのは、買い占めに対し、逆効果ではないか？また、住んでいる人は買い占めができるが、新しく引っ越してきた人はできないのも不公平ではないか？

A：今のところ、店での在庫などもあることから、1年間の猶予案を考えています。説明会の中で、長過ぎるという意見もありますので、今後検討させていただきます。

Q：不法投棄やコンビニで捨てられるごみが増えるのではないか？

A：不法投棄につきましては、現在、2人1班体制でパトロールをしています。有料化を行った場合、そういったものが増えないよう、有料化の収入を使い、パトロール人数を増やすことも考えていきます。

Q：草木のリサイクルはどのように行うのか？

A：肥料化してまいります。

Q：それでは問題ではないか？

A：市では、問題ないと考えています。問題あるようでしたら、またその辺については、勉強させていただきます。

Q：掛川市の袋の値段は？全国で袋井市と同等規模の自治体での実績が分かれば教えてほしい。

A：掛川市は袋の値段が22円です。県内では、平均で20円。川根本町が、最も高く30円。他県の状況は、東京都のデータしか手元にありませんので、限られたところですけど、袋井市と同様に8万人の狛江市が80円、7万5千人の国立市が同じく80円、9万人の稲城市が60円といった状況です。

Q：有料化の効果がどうか分かれば、参考になると考える。

A：そこまでの資料は、持ち合わせていませんので、申し訳ありません。

※参考資料を作成しましたので、ご覧下さい。

Q：平成28年にプラスチックの分別を見直したからごみが増えたのだから、正しく分別するように、もっと啓発すべきではないか？

A：その点については、今後も引き続き、啓発を進めてまいります。

Q：色々なごみ減量化策を提案しているが、まずそれを先にやればどうか？ごみが減れば、その費用も出せるのではないか？

A：ごみが減ることにより減ったごみ処理費用だけで、新たな減量化策の費用を賄うことは無理です。温室効果ガスを46%削減するためには、考えられるありとあらゆる手段を用いない限り、無理なことだと考えていますので、申し訳ありませんけど、有料化をさ

せていただき、その収入でお金を掛け、様々なごみ減量化策を行わせていただきたいと思います。

Q：有料化は決定ではないと言いながら、説明を聞いていると有料化ありきではないか？
A：最初から、「有料化だめですよね」という説明をするわけにはいかないので、説明に関しては「できれば有料化をお願いしたい」という方向で、説明をさせていただいています。最終的には、説明会で皆さんの意見を伺った中で判断させていただきます。

Q：案について、決定する前に示してもらいたい。
A：そのような形で、考えさせていただきます。

Q：古紙が富士市に行っていると説明したが、本当に全部行っているのか？
A：今提案させていただいている雑紙の回収は、収集したものを直接トラックで富士市に運ぶので、全て富士市に行きます。

Q：今日の説明会をどう捉えているか？ほとんどの人が反対だったと考えるか？
A：色々な反対意見を、いただいたとは捉えています。ただし、今までの地区では反対に、賛成の意見の方が多かったですので、全体を見通した中で判断させていただきます。

Q：今まで賛成意見多かったのは本当か？4倍以上も値が上がるのに、賛成なんておかしいではないか？
A：今までのアンケートの結果ですけど、30円の値上げも仕方ないと言っているのが32%。値上げは仕方がないが30円は高いという人が40%。条件付き賛成が14%。はっきり反対が1割です。今までの説明会の結果は、ホームページで公表していますので、ご覧ください。

Q：なぜホームページか？全ての人が、パソコンを持っているわけではない。
A：すぐに対応できるので、ホームページで対応させてもらっています。説明会が全て終わった後、広報や班内回覧などで周知させていただきたいと考えています。

Q：今日で何回目か？
A：14か所のうち6か所目です。残りは8か所となります。

Q：先ほど言っていた雑紙や草木のリサイクルを行うのに、いくら必要だからいくらに値上げしたいというならまだ分かる。4倍は理解できない。地球温暖化、袋井市が解決できることではない。もっと大きな問題だ。
A：ご意見は参考とさせていただきます。ただし、地球温暖化に関しては、市民に任せられて行政を行っておりますので、全市民の将来のため、「袋井市だけが頑張っても意味がない」とはできないと考えています。